



どもりって、なあに？

【お子さんとの日常生活での接し方】

吃音は、古くから知られていますが、「吃音は遺伝する」「まねを
するとうつる」や「相談に連れて行くと、子どもが意識してしまい、
もっと悪くなる。」などの学問的には40年以上前に否定されている
知識がまかり通っていたり、正確な情報が一般的になっていません。

《「吃音」は、『きつおん』と読みます。今までは【どもり】と言われていました》

そのために「吃音は自覚させない方が良く、ことばの教室等々
へ相談など行かない方が良く。」「吃音は治らないし、治すすべもない」と言われ、逆に悩みが深まったという親御さんもいます。

子どもが苦しそうに話し始めたとき、「ゆっくり言ってごらん。」
と言いたくなるのは自然なこと、どうして言っていけないの？ 親子
関係の悪さが原因なの？ 吃音は治らないの？等々 吃音のあるお子
さんのいる家族の方には様々な知りたいことが多々あると思います。

このようなことから、今回は、『吃音についての正しい知識、そし
て日常生活でのお子さんとの接し方について、分かりやすくお話をし
ていただきます。

山形言語臨床教育研究会 代表 梅村 正俊

講師 長澤 泰子 先生 (現; 日本橋学館大学教授)

講師略歴; 国立特殊教育総合研究所 (特総研) | 広島大学学校教育学部教授
言語機能障害研究室室長 | 慶応大学人文学部教授

講師紹介; 講師の長澤先生は、主に小学校に設置されている『ことばの教室』を担
当する先生方の養成に長年携わってこられました。中でも、吃音や発達障害の
問題については、現在も『ことばの教室の先生』の先生として、ご活躍中です。

編著書『こころのコミュニケーション』

「第5章 吃音のある子どもとのコミュニケーション」から引用

妹は、幼稚園でもしっかりもので先生からほめてもらい、運動もよくでき、
何をやってもよくできるタイプなのです。保護者にとっては自慢のお子さんだっ
たのです。それに比べ、(吃音のある子) 健太郎君はどちらかというと、おっと
りタイプなので、保護者からすればイライラする子どもでした。そんな環境を考
えると、健太郎君にとって、まずは本当に自由に自分らしく振る舞え、誰とも比
べられない時間と場所が必要だったのです。

日時; 平成22年7月3日 (土) 午後1時30分~午後4時

場所; 山形市市民活動支援センター高度情報会議室 (霞城セントラル23階)

主催; 山形言語臨床教育研究会 共催; 親子ことばの相談室 (山形言語臨床教育相談室)

後援; 山形市・山形市教育委員会・上市市・上市市教育委員会・天童市・天童市教育委員会

内容; テーマでの講演 及び 質疑応答 (お子さんや園児のことばの問題についてもご質問下さい)

申し込み方法; 用紙に『参加する方の氏名・住所・電話番号・質問があれば質問も』を記載し、**FAX**でお申し込み下さい。

申し込み先・問い合わせ先; 親子ことばの相談室 **【当日参加も可】 Fax: 023-646-6492**

※ 普段は、通室児の指導を行っていますので、**お問い合わせも、全てFAXで** お願いいたします。

ホームページあどれす; <http://www.i-kotoba.com>

◀山形言語臨床教育研究会▶ 事務局; 990-2483 山形市上町5丁目11-24 親子ことばの相談室内 **【会場や駐車場の地図は、相談室のHPからダウンロードしてください】**

費用; 1,000円

実費の半分程度をご負担下さい。



参加申込 F A X (保護者用)

市民公開講座に申し込みます。

参加する方の氏名 _____ 電話番号 _____

住 所 _____

長澤先生にお聞きになりたいことがあれば、ご記入下さい。

参加申込 F A X (関係機関用)

【保育園や幼稚園、病院関係、福祉関係等で参加を希望される場合使用】

機 関 名 _____ 参加人数 _____ 名

代表者の氏名 _____ 電話番号 _____

住 所 _____

長澤先生にお聞きになりたいことがあれば、ご記入下さい。

尚、吃音講座に参加される方の場合、この用紙での申し込みの必要はありません。